

### 群馬高専 学生海外派遣報告

群馬高専では、3月24日～29日に学生海外派遣プログラムが実施され、学生26名と教員5名が参加しました。今回は、2006年3月に教育学術連携協定を結んだ上海工程技術大学との交流に加え、今年1月に新たに協定を結んだ上海市業余科技学院との交流も始まりました。

今回のプログラムでは、学生相互の英語による日中文化紹介のプレゼンテーションや日中友好バスケットボールの試合が行われるなど、交流内容も過去2回の研修と比較してさらに充実したものととなりました。また、世界有数の宝山製鉄所の見学や上海市内の自由行動では上海の学生も一緒に参加し、片言の英語や身振りの会話ながらも双方の学生ともすっきりうち解けて有意義な交流となりました。

今年の8月には上海工程技術大学の学生が初めて群馬高専へ来校する予定になっており、更なる交流推進に向けて取り組んでいます。



### 岐阜高専

#### 学生の手で間伐材を利用した環境学習ハウス2棟を建設

今、地球規模の温暖化対策として、温室効果ガス削減が急務となっており、国土の全体に占める森林の割合が約66%ある日本においては、森林吸収量で温室効果ガス約3.9%が削減可能であると言われています。森林面積割合は、本校の立地する岐阜県が81.8%で全国第2位、本巣市は86%にも及んでいます。そこで、環境問題を考えるために、また、間伐材利用を啓発するために、平成19年度、20年度に渡り、環境都市工学科1年の「シビルエンジニアリング入門」の授業の一環として、学内に本巣市産、岐阜県産の間伐材を使用した環境学習ハウス2棟を学生の手で建設しました。この環境学習ハウスには、照明として地元企業から提供を受けたLEDを設置、また、今後、太陽光発電システムや風力発電システムなど設置し、自然エネルギーを利用すると共に、学内の剪定枝等を木質バイオマスエネルギーとして暖房に利用するシステムを構築するなど、地元の小中学生や一般市民への啓発活動の拠点となるよう整備を進めています。



### 広島商船高専

#### 学生運営による流通実験店舗「Cozy Cafe」と寺子屋学習・交流塾

地域の活性化

流通実験店舗Cozy Cafeと寺子屋学習・交流塾は、「流通情報工学科で学習する流通システムを現場で体験する実習場づくり」と「産学官民の連携交流拠点づくり」を具現化したものです。実習場は広島県竹原市の町並み保存地区にあり、空家を再生し2005年5月に竹原サテライトオフィスとして開設しました。1階がCozy Cafe、2階が寺子屋学習・交流塾で、実験実習や共同研究で活用しています。

Cozy Cafeは地産地消を目標に学生自らが生産者から原材料を仕入れ、地域の食文化を伝承する商品開発を行い、会計や販売サービス管理といった一連の小売店舗経営を実習しています。瀬戸内海の温暖気候で育つ柑橘類を使ったジュースを主力商品とし、40年前に竹原塩田と共に消えた幻の郷土料理「たけはら魚飯」も地域団体と再現しました。

Cozy Cafeの利益に人材と技術を加え、寺子屋学習・交流塾で地域教育へ還元しながら自立したビジネスを展開しています。学生は「こども講座」、教員や外部講師は「おとな講座」で瀬戸内海をテーマとした地域学交流塾を行なっています。



流通実験店舗「Cozy Cafe」

資本・人材・技術の活用による  
コミュニティー・ビジネスの展開

寺子屋学習交流塾

地域教育への還元

【学生や地域の皆さん。知恵を出しながら協働でまちの活性化にチャレンジしませんか。http://www.hiroshima-cmt.ac.jp】

### 鹿児島高専

#### 高専ロボットと音楽会

高専ロボコンのロボット達と、吹奏楽部の演奏とのコラボレーション!おそらく、全国高専でも初めてではないかと思われるこの高専らしいイベントに、会場を埋めつくした約400名の小中学生、そして保護者の方々と日曜日の午後のひとときを一緒に楽しみ、大いに盛り上がりました。6月22日に県民交流センターで開催されたこのイベントの目的は、鹿児島高専の良さをもっと知ってもらうことであり、ロボコンに毎年出場しているメカトロクス研究部の学生と吹奏楽部の学生が参加しました。プログラムの1部では、昨年の高専ロボコン「ロボット騎馬戦」をメカ研のロボット同士で戦い、2部では、吹奏楽部に同部の指揮者で指導教員が開発した自動演奏ロボット2台も加わり、おなじみの曲を演奏しました。最後に、吹奏楽部の演奏に合わせて、ロボット達が踊り、幕を閉じました。参加者の多くがアンケートで、とても楽しかった、来年も是非このイベントをして欲しい、と答えていました。

